



発行所  
北海道高等学校体育連盟  
バレーボール専門部  
発行責任者 杉木 恵  
編集責任者 高田 志朗  
平成22年2月15日 発効

## 第62回 北海道高等学校バレーボール競技選手権大会

期日：平成21年6月17日(水)～20日(土)

会場：稚内市総合体育館、稚内市緑体育館、稚内高校体育館、稚内大谷高校体育館

当番校：北海道稚内高等学校

### 男子優勝 白樺学園高校

準優勝 札幌第一高校

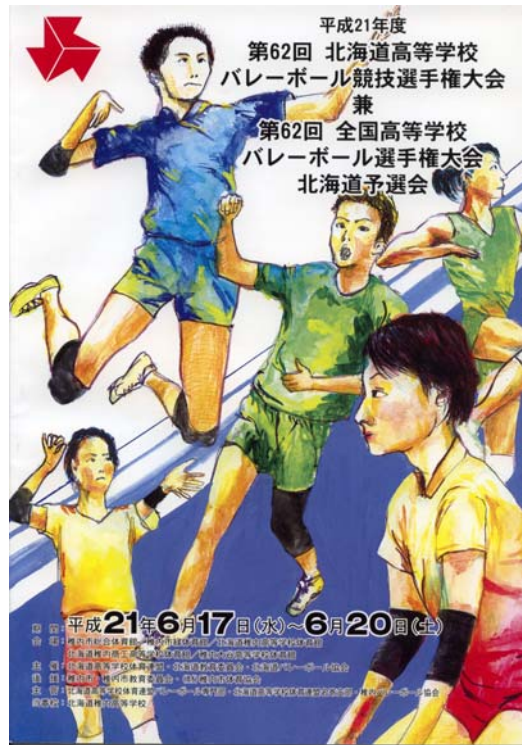
3位 尚志学園・東海大四

#### 【優秀選手賞】

中村 修平	3年	白樺学園
斉藤 寛人	3年	白樺学園
羽原 悠紀	3年	白樺学園
井口 涼	3年	白樺学園
井端 収	3年	白樺学園
樹谷 周呈	2年	白樺学園
出耒田 敬	3年	札幌第一
藤田 雄也	3年	札幌第一
坂本 晃一	3年	札幌第一
浅川慎之介	3年	札幌第一
クック文滋ジームズ	3年	尚志学園
工藤 将大	3年	東海大四

#### 【優秀監督賞】

中村 康弘 (白樺学園高校監督)



ベストレフェリー賞 阿部 芳久  
新居 高敏

### 女子優勝 札幌山の手高校

準優勝 札幌大谷高校

3位 旭川実業・帯広南商業

#### 【優秀選手賞】

大曲華菜子	3年	札幌山の手
金成 有花	3年	札幌山の手
小納谷萌美	3年	札幌山の手
長池 彩代	3年	札幌山の手
松崎 涉	3年	札幌山の手
吉田 麗那	3年	札幌山の手
小林 早紀	3年	札幌大谷
古沢 ちこ	2年	札幌大谷
川合 葉月	2年	札幌大谷
高橋 佑芽	2年	札幌大谷
伊関 悠	2年	帯広南商業
小室 絵理	3年	旭川実業

#### 【優秀監督賞】

渡邊 徹 (札幌山の手高校監督)

## 全国高等学校総合体育大会結果

### 予選グループ戦

白樺学園 0 (23-25/14-25) 2 聖隷クリスファ(静岡)	札幌山の手 0 (15-25/22-25) 2 文京学院大高(東京)
札幌第一 0 (16-25/17-25) 2 佐世保南(長崎)	札幌大谷 1 (25-23/15-25/17-25) 2 土浦日大(茨城)

### 敗者復活戦

白樺学園 0 (23-25/14-25) 2 安来(島根)	札幌山の手 2 (25-11/25-11) 0 一条(奈良)
札幌第一 0 (16-25/17-25) 2 高知(高知)	札幌大谷 0 (15-25/22-25) 2 夙川学院(兵庫)

### 決勝トーナメント1回戦

札幌山の手 1 (25/16/18-25/20-25) 2 敬愛学園(千葉)
--

全国大会 優勝 大塚(大阪)	全国大会 優勝 東九州龍谷(大分)
準優勝 市立尼崎(兵庫)	準優勝 九州文化学院(長崎)
3位 都城工業(宮崎)、東福岡(福岡)	3位 文京学院大高(東京)、古川学院(宮城)

## 第62回 北海道高等学校バレーボール競技選手権大会の順位

### 【男子の部】

優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16		決勝トーナメント1回戦		予選グループ戦	
白樺学園	札幌第一	尚志学園	函大有斗	札幌藻岩	岩 緑 陵			浦 河	旭川竜谷
			遠 軽	苫小牧東	栗 山			稚 内	弟 子 屈
		東海大四	とわの森	小樽桜陽	釧路工業			斜 里	旭川凌雲
			豊 富	函館工業					

### 【女子の部】

優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16		決勝トーナメント1回戦		予選グループ戦	
札山の手	札幌大谷	旭川実業	北見商業	札幌北商	東海大四	岩見沢西	苫 中 央	釧路北陽	北海道栄
			白樺学園	函館大妻	紋 別	中 標 津	岩 内	稚 内	天 塩
		帯広南商	留 萌	札幌北斗	遠 軽	国際情報		小樽商業	稚内大谷
			旭 大 高	深 川 西	虻 田			市立函館	函館稜北

## 高体連全道ランキング

(上位ランク40まで) ※詳細はHPでご覧下さい。

### 【男子の部】

### 【女子の部】

ランク	チーム名	POINT	ランク	チーム名	POINT	ランク	チーム名	POINT	ランク	チーム名	POINT
1	東海大四	363	21	旭川商業	59	1	旭川実業	276	22	稚 内	65
2	釧路工業	243	22	函館工業	58	2	妹背牛商	271	23	深 川 西	64
3	札幌第一	238	22	天 塩	58	3	札山の手	197	24	芦 別	63
4	旭 川 西	160	24	北見緑陵	55	4	斜 里	175	24	白 糠	63
5	美唄工業	117	24	帯広柏葉	55	5	登別大谷	132	26	札幌静修	60
6	函大有斗	116	26	苫 中 央	54	6	岩見沢西	130	27	岩 内	57
7	帯広農業	112	27	斜 里	46	7	札幌大谷	122	28	帯広三条	55
8	札幌藻岩	111	28	旭川工業	45	8	釧路星園	103	29	函 館 北	51
9	網走南丘	110	28	札 幌 南	45	9	帯広南商	96	29	東海大四	51
10	とわの森	105	30	函 館 北	44	10	函館商業	91	31	函館大妻	48
11	釧路湖陵	96	30	岩 内	44	11	釧路商業	89	32	稚内大谷	47
12	白樺学園	86	30	帯広工業	44	12	旭川商業	83	33	函館中部	40
13	小樽工業	83	33	稚 内	43	13	岩見沢東	79	33	北広島西	40
14	岩見沢農	80	34	苫小牧東	40	14	苫 中 央	78	33	双 葉	40
15	旭 川 東	79	35	小樽潮陵	39	15	帯広大谷	73	36	留 萌	39
16	深 川 西	74	35	滝 川 西	39	16	札 幌 北	72	37	網走南丘	38
16	尚志学園	74	35	夕 張 北	39	17	札幌北斗	71	38	芦別商業	36
18	函 館 東	73	38	恵 庭 南	38	17	旭 川 西	71	39	俱 知 安	34
19	札 幌 北	68	38	名 寄	38	19	苫小牧西	68	40	札幌藻岩	32
20	岩見沢東	64	40	函館中部	36	20	北見商業	67	40	名 寄	32
			40	旭川実業	36	20	釧路北陽	67	40	北見北斗	32
			40	帯広三条	36				40	美唄南	32

◆ 過去一年間の大会結果 ◆

男子

女子

◇平成20年度天皇杯・皇后杯

【優勝】nakaichi2001 【準優勝】とわの森三愛高校

【優勝】札幌大谷高校 【準優勝】札幌山の手高校

◇平成20年度新人大会 開催地：室蘭市

【優勝】白樺学園 【準優勝】東海大四

【優勝】旭川実業 【準優勝】札幌山の手

【ベスト4】札幌第一、函大有斗

【ベスト4】札幌大谷、帯広南商業

【ベスト8】市立函館、札幌藻岩、尚志学園、とわの森

【ベスト8】白樺、帯広大谷、函立大妻、虻田

【ベスト16】北緑陵、豊富、斜里、滝川西、岩緑陵、浦河、北海、帯広工

【ベスト16】釧北陽、釧明輝、登大谷、札北斗、北北斗、札藻岩、留萌、旭川大

【1回戦】樽桜陽、深川西、釧工業、旭竜谷、伊緑丘、旭凌雲、室清水、札工業、大麻、苫小東、岩内、紋別、恵庭南、富良野、別海

【1回戦】市函館、深川西、苫小東、斜里、名寄、札東陵、稚大谷、函商業、芦別、樽商業、苫中央、旭商業、岩見西、札啓北、美聖華、紋別、東海四、北緑陵、滝川、恵庭南、中標津、大麻、浦河・えりも、岩内

◇平成20年度選抜大会

◀北海道▶

【優勝】白樺学園 【準優勝】釧路工業

◀北海道▶

【優勝】旭川実業 【準優勝】帯広南商業

【ベスト4】旭川凌雲、帯広工業

【ベスト4】帯広三条、中標津

【ベスト8】北見北斗、北見柏陽、富良野、斜里

【ベスト8】北見商業、別海、旭川大高、旭川商業

【ベスト16】別海、弟子屈、北緑陵、旭川北、深川西、名寄、帯三条、紋別、

【ベスト16】白樺、富良野、紋別、遠軽、名寄、稚大谷、旭明成、深川西

【1回戦】豊富、滝川西、旭川竜谷

【1回戦】留萌、旭川西、釧北陽、斜里、芦別、中川商、釧明輝、帯大谷、滝川、枝幸、北緑陵、北北斗、

◀北海道▶

【優勝】東海大四 【準優勝】札幌第一

◀北海道▶

【優勝】札幌山の手 【準優勝】札幌大谷

【ベスト4】札幌藻岩、尚志学園

【ベスト4】虻田、岩見沢西

【ベスト8】恵庭南、北海、札幌北、函大有斗

【ベスト8】函館大妻、岩見沢農、札幌北斗、国際情報

【ベスト16】函工業、岩緑陵、札幌南、函館西、苫高専、とわ森、市函館、札工業

【ベスト16】北海栄、東海四、札幌南、登大谷、苫小東、大麻、札藻岩、倶知安

【1回戦】栗山、大麻、浦河、苫工業、伊達緑、苫小東、札啓北、樽桜陽、千歳、室蘭栄、岩内

【1回戦】浦河・えりも、市函館、美聖華、苫中央、札白石、岩内、函商業、函稜北、千歳、江別、静内、恵庭南、札啓北、札第一、小商業

◇平成21年度新人大会 開催地：帯広市

【優勝】東海大四 【準優勝】白樺学園

【優勝】札幌大谷 【準優勝】帯広南商業

【3位】札幌第一 【4位】恵庭南

【3位】旭川実業 【4位】札幌山の手

【ベスト8】札幌藻岩、とわの森、札幌旭丘、帯広工業

【ベスト8】旭川大高、東海大四、遠軽、函館商業

【ベスト16】札幌北、釧工業、伊達、斜里、豊富、苫工業、函有斗、遠軽

【ベスト16】登大谷、帯三条、市函館、留萌、旭川商、恵庭南、函稜北、岩見西

【1回戦】岩見西、札幌南、浦河、別海、倶知安、樽潮陵、旭工業、北緑陵、深川西、尚志、滝川、旭川北、帯柏葉、函工業

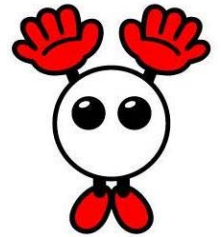
【2回戦】深川西、樽商業、網南丘、滝川、白樺、苫小東、札北斗、札月寒、土翔雲、札啓北、北緑陵、芦別、美聖華、大麻、釧北陽、中標津

【1回戦】北柏陽、札真栄、静内、江陵、豊富、岩内

～ 全国大会結果 ～

◆平成20年度選抜大会

男子 1回戦	白樺学園	2	(25-22/25-16)	0	大同工大大同(愛知)
	東海大四	2	(15-25/25-19/25-19)	1	佐賀学園(佐賀)
男子 2回戦	白樺学園	2	(25-19/25-21)	0	鎮西(熊本)
	東海大四	1	(24-26/25-19/16-25)	2	開智(和歌山)
男子 3回戦	白樺学園	0	(22-25/10-25)	2	東亜学園(東京)
女子 1回戦	旭川実業	0	(21-25/25-27)	2	安来(島根)
女子 2回戦	札山の手	0	(17-25/19-25)	2	市立船橋(千葉)



◆平成21年度高校総体(奈良県大和郡山市 近畿まほろば総体)

～ 君が今 歴史の新たなページを創る ～

男子	白樺学園・札幌第一	共に予選グループ戦敗退
女子	札幌大谷	予選グループ戦敗退
	札幌山の手	決勝トーナメント1回戦敗退



◆平成21年度トキめき新潟国体 ～ トキはなて、君の力を 大空へ ～

少年男子 1回戦	北海道選抜	1	(25-19/19-25/21-25)	2	千葉選抜(習志野)
少年女子 1回戦	北海道選抜	0	(19-25/13-25)	2	埼玉選抜



平成21年度 国民体育大会 バレーボール少年 北海道選抜チーム (身長順)

男 子						女 子					
監督	山田 和弘	とわの森三愛高校				監督	渡辺 徹	札幌山の手高校			
コーチ	新谷 富市	札幌第一高校				コーチ	富田 誠治	帯広南商業高校			
コーチ	中村 康弘	白樺学園高校				コーチ	西岡 哲哉	札幌啓北商業高校			
コーチ	奥山 諭	札幌新川高校				コーチ	出倉 諭	旭川実業高校			
コーチ	太刀川建一	恵庭南高校				コーチ	平本 和久	札幌大谷高校			
						マネージャー	佐藤 和幸	札幌国際情報高校			
No	氏 名	高 校	学年	身長	出身中学	No	氏 名	高 校	学年	身長	出身中学
1	出 末 田 敬	札幌第一	3	198	札幌星置	1	松 崎 涉	札山の手	3	176	岩見沢東光
2	館 佑 征	函大有斗	3	188	函館亀尾	2	金 成 有花	札山の手	3	175	札幌澄川
3	三 浦 拓也	函大有斗	3	188	北斗大野	3	大 曲 華菜子	札山の手	3	172	恵庭恵み野
4	田 城 貴之	とわの森	3	187	岩見沢清園	4	黒田 菜都美	札山の手	2	172	釧路鳥取
5	中 村 修平	白樺学園	3	182	帯広南町	5	中 川 恵理	札山の手	2	172	江別中央
6	クック・文滋・ジェームス	尚志学園	3	182	札幌八軒	6	小納谷 萌美	札山の手	3	170	厚 真
7	斉 藤 寛人	白樺学園	3	180	白 糠	7	小 室 絵理	旭川実業	3	170	南富良野
8	関 根 祐司	とわの森	3	180	旭川西神楽	8	玉 岡 舞華	旭川実業	3	168	釧路富原
9	羽 原 悠紀	白樺学園	3	174	音 更	9	小 林 早紀	札幌大谷	3	162	札幌大谷
10	大 内 友輔	恵庭南	3	167	恵庭恵み野	10	吉 田 愛那	札山の手	2	162	花川南
11	山 崎 浩史	東海大四	2	163	江別中央	11	小 西 那奈	札山の手	2	160	江別中央

## 若さでアタック!! 春の高校バレー

### 平成21年度 第41回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会 北海道予選会

チームを引き継ぎ初優勝した平本監督と札幌大谷の選手たち

紆余曲折を経てようやく開催にこぎつけた南北統一の春高バレーでしたが、参加チーム数・熱気・感動 等々、北海道バレー界最大のイベントとして、成功の内に終了しました。今後まだまだ改良を加える余地は残しているものの顧問・選手・役員だけでなく報道・メーカー・スポーツ店など大きな輪の中で開催できたことに意味があるような気がします。

代表権を獲得した男子の東海大四・札幌第一、女子の札幌大谷・帯広南商業は国立代々木競技場に大きな花を咲かせてもらいたいと祈ります。



写真提供 プロフォートサニー

【優勝】東海大四 【準優勝】札幌第一

【ベスト4】札幌藻岩、釧路工業

【ベスト8】遠軽、帯広柏葉、とわの森、札幌北

【ベスト16】釧湖陵、市立函館、江別、岩見沢西、白樺、恵庭南、別海、旭川北

【2回戦】深川西、北海、倶知安、伊達、札幌旭丘、岩緑陵、苫工業、樽桜陽、千歳、北見工、函有斗、尚志、苫高専、名寄、北広島、札工業

【1回戦】斜里、帯三条、旭実業、札幌南、静内、滝川西、室蘭栄、富良野、豊富、北緑陵、函工業

【優勝】札幌大谷 【準優勝】帯広南商業

【ベスト4】札幌山の手、旭川実業

【ベスト8】釧路北陽、登別大谷、札幌北斗、釧路江南

【ベスト16】旭商業、札月寒、虻田、恵庭南、網南丘、遠軽、旭川大、札幌北

【2回戦】岩見西、函商業、江陵、札幌北陵、士翔雲、函稜北、北柏陽、東海四、函大妻、市函館、稚内、中標津、滝川西、芦別、えりも、旭川南

【1回戦】苫中央、稚大谷、別海、帯大谷、紋別、静内、北緑陵、江別、大麻、札幌路、樽商業、岩見農、札幌新川、岩内、名寄・名産、深川西、富良野、帯三条、北広島、倶知安、留萌、美聖華、札幌真栄、苫小東

優勝を喜ぶ東海大四の選手たち



写真提供 プロフォートサニー

春高バレー北海道予選会がこの時期に開催されるのは今年が最後です。来年度からは11月末～12月上旬に道大会、1月上旬（来年度は1月5日）に全国大会ということになっています。それに伴ない各地区予選は夏休み明けに開かれることになり、3年生の出場も可能となります。このことについてはいろいろな意見もあると思いますが、春高バレーを「本当の実力No.1高校を決定する大会」と位置付ける主旨で進んでいる以上、筋が通っているように思われます。

また、大会名も「選抜優勝大会」から「高校選手権大会」へと変更になります。「選抜大会」は廃止になるということです。とても寂しい限りですが、最後の「選抜大会」、道代表4チームには全力を挙げて道産子魂を発揮して欲しいものです。

特集

私学大会

今回は14回目を迎えた全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会(ウインターバレー)を特集してみました。スタート当初はどうなるものと不安視されていましたが、現在は年末の恒例行事になりつつあります。ここでは、北海道の歴代ベスト8と全国での成績を掲載しておきました。高体連や春高の少ない代表枠では踏めない全国の強豪との対戦舞台を楽しみにしているチームも多いようです。今後の更なる発展を期待したいと思います。尚、下段は全国結果です。

【男子の部】

年度	回	優勝	準優勝	3位	4位	ベスト8			
平成15	8	東海大四 全国3位	尚志学園 予選2勝2敗	とわの森 予選3勝1敗	函大有斗 予選0勝4敗	札幌第一 予選2勝2敗	白樺学園	函サール	立命館慶祥
平成16	9	東海大四 予選2勝2敗	とわの森 予選2勝2敗	函大有斗 予選2勝2敗	札幌第一 予選0勝4敗	立命館慶祥	函サール	北海	北照
平成17	10	函大有斗 予選3勝1敗	東海大四 予選2勝2敗	北海 予選2勝2敗	尚志学園 全国ベスト8	立命館慶祥	札幌第一	白樺学園	旭川明成
平成18	11	東海大四 決勝1回戦	尚志学園 予選2勝2敗	とわの森 予選2勝2敗	函大有斗 予選1勝3敗	札幌第一 予選2勝2敗	白樺学園	函サール	北海
平成19	12	東海大四 予選0勝4敗	白樺学園 予選0勝3敗	札幌第一 予選3勝1敗	函大有斗 予選3勝1敗	尚志学園 予選2勝2敗	とわの森	函サール	北海
平成20	13	とわの森 予選2勝2敗	尚志学園 決勝1回戦	白樺学園 予選3勝1敗	札幌第一 全国ベスト8	函サール	函大有斗	東海大四	北海
年度	回	優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	7位	
平成21	14	函大有斗 決勝1回戦	白樺学園 予選3勝1敗	札幌第一 予選3勝1敗	尚志学園 予選2勝2敗	東海大四	とわの森	北海	

\* 東海大四は全国第1回大会(平成8年)で準優勝、第2回大会で優勝、第3・4・5・7回大会では3位に入っている。

\* 札幌第一は第5回大会では3位に入っている。

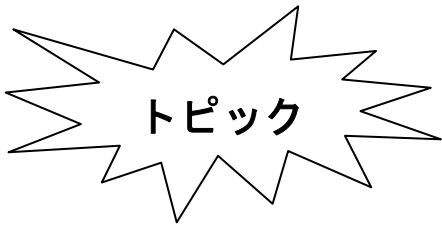
【女子の部】

年度	回	優勝	準優勝	3位	4位	ベスト8			
平成15	8	札幌大谷 全国3位	帯広大谷 予選0勝4敗	苫中央 予選1勝3敗	札山の手 予選0勝4敗	とわの森	札幌北斗	東海大四	函白百合
平成16	9	札幌大谷 予選2勝2敗	東海大四 予選1勝3敗	帯広大谷 予選0勝4敗	函館大妻 予選0勝4敗	旭川藤	札山の手	函白百合	苫中央
平成17	10	札幌大谷 決勝1回戦	函白百合 予選0勝4敗	帯広大谷 予選2勝2敗	苫中央 予選0勝4敗	札幌日大	函館大妻	札幌北斗	東海大四
平成18	11	札幌大谷 決勝1回戦	札山の手 予選1勝3敗	白樺学園 予選1勝3敗	登別大谷 予選0勝4敗	札幌第一	札幌北斗	帯広大谷	函白百合
平成19	12	札幌大谷 予選0勝4敗	白樺学園 予選3勝1敗	旭川大学 予選2勝2敗	札山の手 予選2勝0敗	帯広大谷 予選3勝1敗	登別大谷	北海	苫中央
平成20	13	札幌大谷 予選2勝2敗	札山の手 予選2勝2敗	旭川大学 予選1勝3敗	白樺学園 予選2勝2敗	旭川明成	稚内大谷	登別大谷	札幌北斗
平成21	14	札幌大谷 決勝1回戦	札山の手 予選3勝1敗	白樺学園 予選1勝3敗	旭川大学 予選0勝4敗	札幌日大	登別大谷	東海大四	函館大妻

男子選抜選考会集合ショット



女子の虻田夏合宿ショット



### ◆古田・庄司全日本へ 道産子バレーボーラーである古田史

郎（函大有斗→法政大4年）、庄司夕起（妹背牛商業→）が共に全日本に入って頑張っています。ロンドンオリンピックに向けて期待が高まります。皆で応援しましょう!!

◆月刊バレーボールで3監督が紹介 昨年は月刊バレーボールの「青き川の流れ」の中で北海道の高校監督3氏（とわの森の山田和弘監督、札幌山の手の渡邊徹監督、旭川実業の出倉諭監督）、が紹介されました。このシリーズで3カ月も同一地区の監督が紹介されるのは異例のことです。その分、北海道が注目されているということなのではないでしょうか？

◆伝統の妹背牛商バレーボール部廃部 昨年3月で廃校・廃部となった妹背牛商業高校とその女子バレーボール部を記念して、メモリアル大会が開催されました。本当に強豪1チームの名前が大会から消えるということは寂しいことです。

◆関東大学一部リーグで男子北海道勢大活躍 関東大学リーグで北海道勢が活躍しています。古田史郎（函大有斗→法政大学エース）、外山裕樹（小樽工業→国際武道大エース）、加藤伊織（札幌北陵→東海大学）、名内康輔（とわの森→日体大リベロ）、矢野諒介（とわの森→筑波大セッター）その他にも沢山の選手が活躍しています。Vリーグでも頑張りたいと願います。

◆関東大学リーグ女子の東海大学キャプテンに三浦亜野選手（妹背牛商業出身）が頑張っていました。

◆春高バレーボール南北各大会が統一、北海道大会へ 今年から春高バレーの北海道大会が南北統一され「きたえーる」を中心会場に開催されることになりました。この統一に関しては紆余曲折があり、その結果が良かったのかどうかも含めて見守っていかねばなりません。今まで北北海道と南北海道からそれぞれ1代表が全国へ出場していましたが、これからは北海道から2チームということになりました。

◆春高全国大会実施が1月へ 来年から春高バレーの全国大会が1月開催で決定されました。とりあえず、来年は1月5日（水）～9日（日）に東京体育館で実施という予定です。大会名も「選抜優勝大会」から「高校選手権大会」に変更となる予定です。また、今まで1・2年生の新人チームで参加していたのが3年生の参加も認められるようになり「本当にその年に一番強い高校チャンピオンを決定する大会」にするようです。

◆大会公認球が変更 平成22年度4月1日から、ミカサ・モルテンのNEWデザイン球を地区、道および全国で使用するようになります。ただし、全国では男女で使用球は固定されます。

◆ベンチ入り人数の解釈変更 ベンチ人数は基本的には変わりませんが、リベロを含めて13名とする場合にはその中に必ず2名のリベロを入れなければなりません。

## 北から 南から

## 北…帯広三条高等学校男女バレーボール部



## 「新しき伝統を」

平成22年度に開校95年を迎えた十勝管内随一の伝統校である帯広三条高校のバレーボール部の歴史は古く、男子校であった帯広中（現柏葉高）と女子校であった帯高女（現三条高）が半分ずつ生徒を入れ替えて新制高校となった昭和25年に、男女同時にその産声を上げています。その後、斉藤喜一先生のもと昭和30年代に男子は全盛期を迎え、昭和34年には高体連全道で3位となり、さらに同年の国体道予選で念願の優勝を果たし全国大会に駒を進めています。女子は昭和41年に柏葉高から赴任された安藤善助先生のもと力をつけ41年の新人戦で早くも全道優勝、翌42年には高体連全道大会において、松田紀子を擁し全盛期を極めた釧路商業に決勝で敗れはしたものの見事準優勝に輝いてインタハイ出場を果たしています。

しかし、高体連では昭和50年に男女揃って地区制覇をして以来、優勝から遠ざかってしまっています。男子は昭和50年代に帯広農業が全盛期を迎え、平成になって白樺学園が大きな壁となっており、女子も昭和50年代の中札内、平成になって帯広大谷と帯広南商業の2強の争いになかなか割って入れる状況にはなりませんでしたが、その間も男子は成田裕保監督のもと、女子は桑谷秀範監督のもとで強豪校撃破を合い言葉に地道に、必死に活動を続けていました。その間、本校の校風も大きく変わり、筆者（立浪）が在学していた昭和50年代は「勉強する奴は勉強をし、部活をする奴は部活だけに専念」していたのですが、進学熱の高まりとともに大学進学率が上昇し「部活をやりながら勉強も並行して両立する」学校になっていきました。特に3年前から「進学重視型単位制高校」へと衣替えし、国公立大学への現役合格者が100名を伺う状況となり、バレー部員もほぼ全員が進学希望となっています。平日7時間授業、夏休みや冬休みの進学講習など部活動と学業との両立に部員たちは忙しい高校生活を送っています。

このように決して練習環境に恵まれているとはいえませんが、男子は立浪のもと、女子は筑波出身の好漢松田敦也のもと、制約の多い条件の中で精一杯頑張っています。「文武両道」の校風を慕って入学してくる部員も増えつつあります。そのような中で女子は19年度の選抜北北海道大会で3位になるなど、再び全盛期が訪れようとしています。選手たちは三条バレー部の長い伝統の流れの中に、今まさに「新しき伝統」を加えようと日々精進しています。

男子監督 立浪哲也



## 北から 南から

### 南・・・苫小牧工業高等学校バレーボール部



### 「自分に厳しく、人に厳しく」

我が校は、大正12年に北海道庁立苫小牧工業学校と称し設立認可された北海道の工業高校で3番目に歴史のある伝統校であります。平成初期には1学年10クラスの大規模校でしたが現在は丘に太しく立っている学舎はそのまま、6クラスになりました。しかし、運動系の部活動は今も盛んでそれぞれが切磋琢磨し学校を盛り上げています。

さて本校バレーボール部ですが、例年年明けに行われている全国高等学校選抜優勝大会の全道大会に今年で6年連続出場することができました。ここまでの道のりを振り返ると、毎年選手達は様々なドラマをつくってくれました。部員が6名で、選手1人でも怪我をすれば出場辞退・棄権という年、初めての地区大会で最下位からスタートして選抜優勝大会の地区大会で優勝した年。全道大会では、北海道立総合体育センター「きたえ〜」の大きさや、各地区を勝ち抜いたチームの雰囲気のみこまれ、選手達自身、コートの中でどのような動きをしているのかさえわからず試合を終えてしまった年もありました。今年のチームはどのようなドラマを残してくれるのか、私ごとですが楽しみにしています。

現在、選手14名、マネージャー2名(2年生6名、1年生10名)の16名になりました。全員が初心者という中、今選手達は技術面や精神面でも様々な壁とぶつかり戦っています。苫小牧バレーボール部の最大の目標は、平成15年以降果たせていない高体連の全道大会に出場し、一つでも多く勝つことです。そのために、選手達は日頃から基本練習を大切に、自分に厳しく人に厳しく、そして思いやりのあるバレーを心がけ練習に励んでいます。

筆を持っている今から、高体連室蘭支部予選会まで、あと4ヶ月程度。これからのバレーボール活動を通じて、少しでも選手達の人生の力となり、今後の大会でさらなる好成績を残し、3年生が引退したときに胸を張って「この仲間がバレーができて本当によかった!」と感じてもらえるように選手と共に一丸となって頑張っていきたいと考えております。

平成21年度高等学校9ブロック長身選手発掘育成合宿 北海道ブロック合宿チーム指名・個人指名選手一覧

《 男子 の 部 》

《 女子 の 部 》

《 男子 の 部 》					《 女子 の 部 》				
	氏 名	学年	身長	学校名		氏 名	学年	身長	学校名
1	佐藤 倫貴	2	190	釧路明輝	1	川合 葉月	2	182	札幌大谷
2	谷越 健吾	2	189	恵庭北	2	三浦 菜実	1	181	函館大妻
3	野坂 尚哉	2	188	函大有斗	3	石倉 未来	2	178	札幌光星
4	横山 聖	2	187	帯広工業	4	佐々木美帆	1	176	旭川実業
5	金子 航典	2	187	札幌工業	5	三本木康子	1	176	旭川明成
6	澤田 敬太	2	186	北海	6	藤井 美沙	2	175	北見北斗
7	桜庭 恭佑	2	186	函大有斗	7	八十科 愛	1	175	東海大四
8	森本 隆浩	2	185	東海大四	8	本間 結佳	2	174	登別大谷
9	道中 広樹	1	185	東海大四	9	多地真実子	2	174	帯広南商
10	桃園 嵩一	2	185	北見柏陽	10	山本 彩夏	1	174	帯広三条
11	梅田 拓実	2	185	旭川東	11	松田 明莉	1	173	札幌藻岩
12	島谷 二郎	2	185	札幌南	12	小山 静香	1	173	札幌北斗
13	松倉 将吾	2	184	滝川	13	越坂 真央	1	173	札幌北斗
14	細矢 佳也	2	183	遠軽	14	渡辺 菜理	1	173	札幌啓成
15	渡邊 勇太	2	177	恵庭南	15	松田奈保子	1	173	帯広三条
16	牧原 圭佑	1	171	札幌藻岩	16	近藤 春奈	2	173	東海大四
《チーム指名》 男子 とわの森三愛高等学校 札幌藻岩高等学校					17	登 晴香	1	172	中標津
					18	川上 知夏	1	172	国際情報
					19	中川香奈美	2	172	恵庭北
					20	滝澤 知優	2	172	函白百合
					21	松野あかね	2	172	札幌南
					22	佐々木若菜	2	172	豊富
					23	早川 祥	2	170	帯広南商
					24	加藤 千尋	2	166	旭川実業

関原 栄 司 前専門委員長の挨拶 → (バトンタッチ) → 杉木 恵 新専門委員長の挨拶

新春1月17日(日)、道新朝刊に第41回春高バレー道大会の組み合わせトーナメント表が掲載されていた。参加校数男子が43校、女子が56校にのぼるビッグイベントである。思い起こせば、第6回大会(1975年2月、苫小牧市開催)以来35年ぶりの全道統一大会となる。その間、長い時間をかけ多くの方々との討議を重ね、反対意見も多々あった事も十分理解している。しかし、その年の参加校数は男子が27校、女子が29校であったことを考えると、35年続いた南北大会の長い歴史の終焉という寂しさを含みながらも、発展的な次世代への1ページと見えてくる。

春高全国が東京代々木体育館という晴れ舞台で行われるように、参加選手には南北の壁を取り払い“きたえーる”という同じ土俵で戦ってもらいたい。そして両翼に勝ち進んだ2チームが、全道のバレーボーラーの代表として全国のチームと凌ぎを削ってきてもらいたい。

学校現場に少子化と部活動離れが叫ばれる今だからこそ、北海道の高校バレーがひとつにまとまって、皆が本当の実力を高め合うことを願いたい。

私にとって激動の1年が終わろうとしています。何もわからないまま引き受けた大役。前委員長のようにはいきませんが、微力ながら残り少ない教師生活でバレーボールを愛する子供たちのために全力をつくしたいと考えています。小さな町の一競技部長から始まったバレーボール人生も20年を超え(プレーヤーとしては30年以上になりますが)、多くの方々に支えられここまでやってこられたと思います。今、私を入れて15人の仲間がいます。彼らもバレーを愛し、生徒のために日々努めています。

この15人で、人間的にすばらしく強い北海道のバレーボーラーを育成することを夢見ています。春高が南北統一になり、選抜大会が選手権大会に変わる等バレー界が変わろうとしているときに、この場にいることは不安でもあり、嬉しくもあります。

高体連がバレーボール界を支えているという責任を持ち、皆でよりよい高体連を築いていく所存ですので、今後とも宜しくお願いいたします。「バレーは楽しい」を合い言葉に。

【おことわり】 前号から掲載を始めました「佐々先生の高体連物語」は同先生の体調不良のため、今号では掲載を中止しました。早いご回復を心から願っています。